

東香会 H25年度 事業報告

平成26年5月
 社会福祉法人 東香会
 しぜんの国保育園
 成瀬くりの家保育園
 ののはな文京保育園

<p>H25年度の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの成長・発達に寄与する人はすべて保育者 ・私たちは、今ここで、「こどもたちのたからもの」を大切にします ・地域で安心して子育てができるように 	<p>理事長の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左記方針に基づき、しぜんの国保育園の増改築工事が設計された。 ・左記方針に基づき3園共に保育を行い、一定の推進を行った。その結果、地域から保育園への信頼が高まり、地域の方々の園訪問が多くなった。 ・保護者のみではなく、様々な多くの人々の訪問が増え、より保育園への信頼が高まった。
<p>H25年度の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園を取りまく社会環境の変化に対応するよう努める。 ・地域環境を生かし「こども中心」の視点に立ってバランスの取れた保育を進める。 ・運営体制が信頼に足るものとなるよう、法人本部をもとに調整し、事業が円滑にすすめるよう努める。 ・子どもの生活や発達の連続性を踏まえた保育の内容の工夫をするほか、小学校や地域とも積極的な連携に取り組む。 	<p>重点目標達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会環境の変化に伴う保育需要に対応するため、「保育」の受け入れ姿勢が優しくなり、まずは話しを聞く姿勢に徹したことで、対応が多くなった。 ・「子ども中心」の視点に立ち、園庭の設定に工夫を加えると共に、今後も、成瀬くりの家保育園の増改築工事等を通して、待機児童の解消に向け努力をしていく。 ・小学校との連携、学生ボランティアの受入れ、共に積極的に行われている。
<p>H25年度事業計画(計画した事業とその手順)</p>	<p>事業実施状況</p>
<p>東香会本部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報活動 ホームページ等での適切な情報公開及び各種おたよりを通して、園児・保護者、地域との触れ合いを深め、開かれた保育園運営のアピールを行うほか、子育て家庭交流の拠点施設としての社会啓発を行います。 ・採用活動と人材育成 良い人材を確保するため、大学・短大・専門学校等へ、ポスター作成等を通して早期の広報活動を行うほか交流を図ります。また、職員の人事考課について検討し、全職員のスキルアップのための体制を検討します。法人本部の人的配置と充実を図ります。 <p>しぜんの国</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢保育としての職員体制をとり、子ども同士が関わり合い学べる環境を作ります。 ・新たな自然環境の見直しと園庭整備を進めます。 ・職員の人材育成プログラムを改正し、エキスパート制度を導入します。 ・食育の取り組みをもう一度見直し、栄養士業務と共に推進、改善を行います。 ・新園舎設立に際して <ol style="list-style-type: none"> ①コクヨファニチャー株式会社と職員との共同開発による家具を取り入れます。 ②シェアオフィスに入居する嘱託職員との連携を開始します。 ③新園舎の保育室配置を想定した環境設定を、平成25年度より行います。 ④新園舎の職員増員への人材確保に取り組めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人ホームページを整理した結果、サイト閲覧者が増加し、それに伴い園来訪者や問い合わせ件数が格段に増加した。また、しぜんの国保育園 新園舎内覧会、オープニングパーティーの開催等、各園ともに外へのアピールを積極的に行った。 ・各養成校へ足を運び就職担当者と直接コンタクトを取った他、合同就職説明会にブース出展をする等、これまで以上に積極的な採用活動を展開できた。その結果、採用希望者が増加し、よりよい人材の確保につながった。 ・職員のスキルアップのための体制については、本格的導入に向け引き続き検討する。 ・0～1歳児の月齢別グループ、3、4、5歳児の幼児異年齢保育グループを形成したことにより、様々な年齢の関わる遊びが増えた。 ・園庭の中心に築山を作り、「ひびき山」と名付けた。子どもの動きの導線に高さが加わり、新しい園庭の遊びが広がった。園庭内に井戸水を掘り、50m付近で水が出た。26年度に園庭内に小池と小川を整備する予定。草花を園庭内に多く植えた事で、子どもたちが植物に興味を持つ機会が増えた。 ・調理師、栄養士が食育への取り組みを見直し、園玄関前に、食に関する資料や、子どもたちの興味を引くものを積極的に展示した。 ・新園舎設立に際して <ol style="list-style-type: none"> ①コクヨファニチャー株式会社との共同開発による新園舎家具を、3点作成した。 ②シェアオフィスに入居する有田昌史氏と園児とのコラボレーションにより、新園舎ホール及び0、1歳のカーテンを製作した。 ③新園舎では、幼児の部屋が教科別の環境設定になっているが、その取り組みに沿った環境を、現園舎でも行った。従来の環境を変えることは用意ではなく、年間の中で改善を多く強いられたが、来年度への助走として子どもも大人も慣れる事ができた。 ④前年度以上に職員募集の窓口を広げ、養成校への直談や地方都市を視野に入れた人材確保に取り組んだ。

東香会 H25年度 事業報告

H26年5月
 社会福祉法人 東香会
 しぜんの国保育園
 成瀬くりの家保育園
 ののはな文京保育園

H25年度事業計画(計画した事業とその手順)	事業実施状況
<p>成瀬くりの家</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども中心とした毎日の活動が理念「いきいき」に基づいて展開されるよう、「保育の質の向上」と「人材育成」に努めます。 ・子どもひとりひとりの個性、表現を大切にし、自ら考え 選択する力を基盤とした自己肯定感を持つ保育を展開します。 ・異年齢交流、統合保育からはぐまれる心の芽生えを大切に育てます。 ・キッチンガーデン 園庭での収穫、食農活動や食育活動をより身近かで活発なものとしします。 ・まるんちゃんのお家では圧倒的に高いニーズの一時保育を市モデル事業の定期利用を軸に行い、カフェでは心地良く過ごせる環境を整えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員に対し、報告、連絡、相談の徹底をし、役割分担等を再確認したうえで、コミュニケーションをより良くとれるように心がけた。人材育成の中でも特に新人育成に力を入れ電話対応や書類の書き方等を意識的に個別指導し、実践力をつけていく。 ・自己肯定感を育む保育としては年間テーマを中心に保育と給食が協力して セレクトメニューにしたり、子ども自らが選択する環境を提供する事ができた。 ・一時保育、定期利用保育共に多くの希望があり、当園の特徴となっている。カフェ利用者にもより良い環境を提供する為、室内環境の見直しを実施する(コーヒーマーカー トイレ内環境 絵本玩具の充実他)
<p>ののはな文京</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区の抱えている保育ニーズ(待機児)に応えるため、市と連携した保育活動をより一層進めていきます。 ・今年度は市の要請による、障がい児に対する健常児の正しい理解を得られる、統合保育を先駆的に実践し、合わせて統合保育技術の研究を推進し、地区の保育園からの要請に応じ、助言・指導を行う「障がい児保育研究保育所」として活動していきます。 ・季節感のある食育を進めるため、食農活動(ののはな畑)として年間を通した食材を園児とともに育成していきます。 ・子ども達の表現活動を一層努めて楽しく登園できる保育内容の充実に努めます。 ・オープン保育、じょうぶな体作り、情操保育を進めていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度から相模原市は、保育所の面積基準を国基準(乳児一人当たり3.3㎡)に拡大することになり、園の現状の乳児受け入れ可能人数が55名から41名に減少した。園は地域の保育ニーズに応え、出来る限り待機児を受け入れていることから、2F展示コーナーを改修し「ほふく室」(乳児室)に転用し、受入れ可能数の55名分の部屋を確保した。 ・施設開設6年目を迎えるにあたり、室内の床、壁等の補修が必要となったため整備を行いより充実した施設とした。 ・園庭から見える緑が少ないことから、予ねてから懸案であった屋上緑化を行い保育環境を向上させた。 ・障害児の保育ニーズの取り組みとして、1歳児の障害児(ダウン児)2名を受入れた。併せて「障害児保育研究所」として支援給食を先駆的に開始した。

平成25年度事業報告 (平成26年4月1日現在)

1 特別保育等

零歳児保育特別対策事業実施 185名

延長保育事業

延長保育事業(零歳児の受け入れ)

* 18:30を超える延べ利用零歳児数 76名

延長保育 利用総人数 2570名

一時保育事業 利用総人数 3,693名

	一時保育	本園	分園	計
一時保育事業(4時間以内)	半日	59	163	222
一時保育事業(4時間を越える)	全日	1248	788	2,036
	計	1,307	951	2,258

障がい児保育 6名×1か月=6名 7名×11ヶ月=77名
外国人児童の受け入れ 4人×12か月

アレルギー児に対する除去食実施 5名×10ヶ月=50名 4名×2ヶ月=8名

2 地域子育て推進

育児講座 年 10回 142名参加
 育児相談 34件
 保育所体験 年 7回実施 延べ 63組 69名参加
 出産を迎える親の体験学習 年 1回実施 延べ 12名参加
 子育てサークル支援 年 7回実施 延べ 88名参加
 子育て情報誌の発行 年 19回実施
 出前保育 年 6回実施 延べ 78組 155名参加
 世代間交流・お年寄りとの交流 年 11回実施
 小中高生の育児体験受入 延べ16日 53名受入
 保育拠点活動支援 年 12名

3 その他

平成25年度事業報告 (平成26年4月1日現在)

1 特別保育等

零歳児保育特別対策事業実施 118名

延長保育事業

延長保育事業(零歳児の受け入れ)

* 18:30を超える延べ利用零歳児数 3×12ヶ月=36名

延長保育 利用総人数 3634名

一時保育事業 利用総人数 4859名(定期含む)

	一時保育	くりの家	駅前(定期)	計
一時保育事業(4時間以内)	半日	896	439(179)	1514
一時保育事業(4時間を越える)	全日	1884	838(623)	3345
	計	2780	1277(802)	4859

障がい児保育 3名×12ヶ月=36名

外国人児童の受け入れ 1名×12ヶ月=24名

アレルギー児に対する除去食実施 6名×12ヶ月=72名 1名×9ヶ月=9名

2 地域子育て推進

育児講座 年10回43名参加
 育児相談 116 件
 保育所体験 年11回実施 延べ156名参加
 出産を迎える親の体験学習 年6回実施 延べ24名参加
 子育てサークル支援 年7回実施 延べ108名参加
 子育て情報誌の発行 年12回実施
 出前保育 年10回実施 延べ75組188名参加
 世代間交流・お年寄りとの交流 年11回実施
 小中高生の育児体験受入 延べ182名受入
 保育拠点活動支援 年7名

3 その他

なし

